

政策形成関係

プロジェクトマネジメント

～政策を成功に導くために～

○講座のねらい

自治体が地域の特性を生かした独自の政策を推進するには、経営資源の適正な配分と計画的な遂行、関係部門等との調整などの過程を適切にマネジメントする必要がある。このような政策推進に関する総合的なマネジメント能力としての「政策執行能力（プロジェクトマネジメント能力）」を習得し、自治体の特色を生かしながら主体的に地域社会を運営していく、実践力のあるリーダーを育成する。

○対象者

受講を希望する職員

○日 程

令和4年 9月 2日（金）1日間

○会 場

自治研修センター（午前9時40分までに集合）

○予定人員

40名

○講 師

㈱ビーコンサルティングサービス

森口 敬司



○カリキュラム

午 前	午 後
(9:50~10:00) ・オリエンテーション	(13:00~16:00) ・実習(政策課題の企画実施における能力・実践力) ・実習(企画実施のためのプロジェクト活動) ① ミッション、目標 ② 実施事項（スケジュール） ③ ステークホルダーとの交渉
(10:00~12:00) ・研修のねらいと進め方 ・政策形成の必要性和執行力の重要性 ・プロデューサーの役割 ・実習（プロジェクト管理活動） －事前課題の活用－ ・プロジェクトマネジメントの進め方 ・実習（政策企画の現状） －事前課題の発表と共有－ ・実習（企画（検討テーマ）検討） ・プロジェクトリーダーに求められる 8つの要素（高業績者の共通項）	・プロジェクトマネジメントの成功要素 ・実習（研修の振り返りと職場適応） (16:00~) ・閉講

【令和2年度受講生のアンケートから】

※ 令和3年度は研修を中止したため、前年度分を掲載

- 企画・計画を立てる際に、どういったことに気をつけて実行していけば良いのかを知りたくて受講した。
- プロジェクトの成果の出来、不出来は、どれだけ、関係者と議論調整が図られたかという事にあるのではないかと感じた。
- 現場と実施主体の認識のズレは、政策実行に大きな影響を与えると感じた。コミュニケーションを怠ると、目標の共有・手段の認識に相違が出てしまうため、常に自分の立ち位置や相手に望む行動を確認し、共通理解をしていくことが必要である。